

2016年3月期 連結決算サマリー

2016年3月期 決算概況

○経済環境

当連結会計年度における世界経済環境は、中国をはじめとするアジア新興国における景気の減速が明らかとなり低調に推移し、米国においては、新興国の景気減速から輸出が低迷しているものの、企業の景況感の改善傾向にあり、雇用環境の改善傾向の継続と製造業を中心に企業活動に持ち直しの動きが見られます。欧州地域においては、個人消費を中心に回復傾向が持続しているものの、地政学リスクによる経済活動へのマイナス影響から、その勢いは鈍化傾向にあります。一方、国内経済においては、雇用環境の改善と所得増加傾向は持続しているものの、年明けからの急速な為替の円高進行によって輸出企業の収益を圧迫し、景気の先行きに対する不透明感は払しょくできない状態です。

○当社グループ

このような状況の中、当社グループは、中国を中心とするアジア地域の販売減少、欧州地域の競争激化による製品価格の下落、原材料価格上昇の影響を受けておりますが、継続して将来的な収益力向上を目的に、経営基盤と製品開発の強化を推進してまいりました。

主力製品である大判インクジェットプリンタ事業では、Tシャツやポロシャツ、トートバッグ等にダイレクトに印刷できるガーメントプリンタ「VJ-405GT」「VJ-404GT」の2機種を発売。加えて「ValueJet」シリーズをメディアごとに必要な調整作業を軽減する当社独自開発の印刷自動化技術「ドロップマスター技術」を搭載した「X」シリーズにモデルチェンジいたしました。また、旧来からのお客様のご要望にお応えて超高精度プロファイル・グラインダ用チャート製図機「PG-1000」の発売を発表。製品力の強化と販売拡大を推進してまいりました。

米国では世界最大規模のサイン・ディスプレイ関連の展示会2015 SGIA Expoにて「VJ-2638X」と「VJ-1617H」の2機種が「PRODUCT OF THE YEAR」を受賞し、ValueJetシリーズとしては4年連続受賞の快挙を達成しました。さらに、ドイツで開催された展示会Viscom Dusseldorf 2015においては「Best of Award 2015 Indoor Air Comfort Certificate」を受賞し、環境意識の高い欧州においてMUTOHの環境にやさしい商品を市場で推進し続けている功績が高く評価されるなど、「MUTOH」の製品、ブランドは高い評価を得ております。

3Dプリンタ事業では、アーク溶接方式を採用した金属3Dプリンタ「Value Arc MA5000-S1」、超高温耐性のタフヘッドを搭載したエンジニアプラットフォーム対応の大型樹脂溶解積層(FDM)方式3Dプリンタ「Value 3D Resinoid(レジンoid)MR-5000」を発売。光造形3Dプリンタ「ML-48」、全身撮影用3Dスキャナー「MUTOH 3D Photo Scan System MS-2000N」の発売も開始いたしました。関連する3D出力サービス事業では、特殊な石膏を使うことで実際の生体に近い感触をもつ生体模型出力サービスを開始いたしました。

(百万円未満切捨て)

損益計算書	2015年3月期	2016年3月期	増減額
売上高	23,475	23,449	△26
売上総利益	8,768	8,287	△481
(売上総利益率)	37.4%	35.3%	△2.0%
販売費及び一般管理費	7,462	7,597	+135
営業損益	1,306	689	△617
受取利息・配当金	21	17	△3
支払利息	4	3	+0
(金融収支)	+17	+14	△2
その他営業外損益	30	△81	△112
経常損益	1,354	622	△732
特別利益	2,776	146	△2,630
特別損失	11	32	+20
法人税等	1,435	587	△847
親会社株主に帰属する当期純利益	2,684	148	△2,535

(百万円未満切捨て)

貸借対照表	2015年3月期	2016年3月期	増減額
総資産	32,027	31,701	△325
流動資産	20,563	19,645	△918
固定資産	11,463	12,055	+592
負債計	6,966	7,783	+817
流動負債	5,179	5,438	+259
固定負債	1,787	2,345	+558
純資産	25,061	23,917	△1,143
(自己資本比率)	75.5%	72.9%	△2.5%

(百万円未満切捨て)

注記その他	2015年3月期	2016年3月期	増減額
担保提供資産	136	128	△8
(対応債務)	78	62	△16
保証債務	33	23	△10
	2015年3月期	2016年3月期	増減額
設備投資額	346	1,135	+789
減価償却費	449	499	+50
開発投資額	1,482	1,580	+97

(百万円未満切捨て)

キャッシュフロー計算書	2015年3月期	2016年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	△487	+2,042	+2,529
投資活動によるキャッシュフロー	△477	△1,599	△1,122
財務活動によるキャッシュフロー	△120	△392	△272
現金及び現金同等物の期末残高	8,597	8,519	△79

【増減コメント】

○売上高  
情報画像関連機器事業において、大判インクジェットプリンタでは、欧州地域での為替の円高と販売価格の下落の影響を受け、加えて、3Dプリンタ事業での販売減による影響から減収となりました。

○営業損益  
原材料価格の値上がりによる原価率の上昇、開発投資など販管費の増加に伴う影響から減益となりました。

○経常損益  
持分法投資損失43百万円の計上等によります。

○親会社株主に帰属する当期純損益  
前年の厚生年金基金代行返上益の特別利益の計上差額によります。

○流動資産並びに固定資産  
流動資産9億18百万円の減少  
主に受取手形及び売掛金の増加2億74百万円、棚卸資産の減少5億85百万円、未収入金等その他の流動資産の減少5億37百万円、繰延税金資産の2億36百万円等によります。  
固定資産5億92百万円の増加  
主に建物及び構築物の増加1億36百万円、土地の増加3億48百万円、繰延税金資産の増加2億51百万円等によります。

○流動負債並びに固定負債  
8億17百万円の増加  
主に流動負債で支払手形及び買掛金の増加2億16百万円、未払金の減少1億37百万円、固定負債で退職給付に係る負債の増加6億47百万円等によります。

○純資産  
11億43百万円の減少  
配当金支払いによる利益剰余金の減少3億21百万円、為替換算調整勘定の減少1億53百万円、退職給付に係る調整累計額の減少4億33百万円等によります。

○担保提供資産  
ムトーノースヨーロッパ社ファクタリング債務に対する担保提供資産となります。

○設備投資額  
主に情報画像関連機器事業向け不動産への投資となります。

○開発投資額  
大判インクジェットプリンタの主力機種「Value Jet」シリーズの新機種開発、ならびに3Dプリンタの開発等の強化によります。

○営業活動〔20億42百万円の収入〕  
税金等調整前当期純利益の計上7億36百万円、減価償却費の計上4億99百万円、棚卸資産の減少4億87百万円、その他流動資産の減少3億38百万円、補助金の受取29百万円の等の資金増加要因、法人税等の支払額3億66百万円の資金減少要因によります。

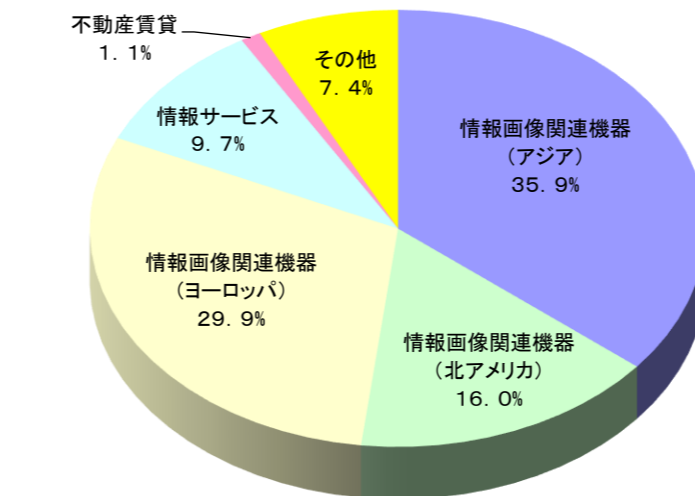
○投資活動〔15億99百万円の支出〕  
主に有形固定資産取得による支出10億43百万円、投資有価証券の取得による支出3億51百万円等によります。

○財務活動〔3億92百万円の支出〕  
主に株式配当金の支払3億21百万円等によります。

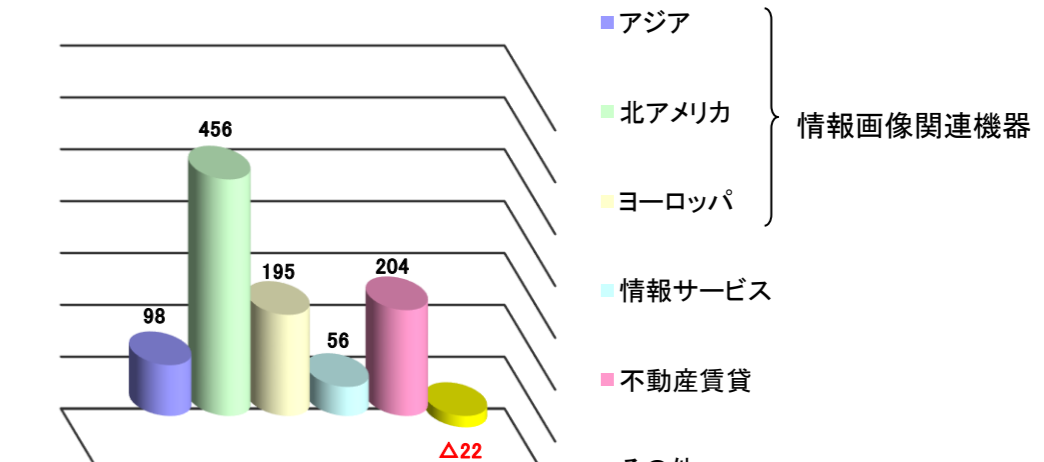
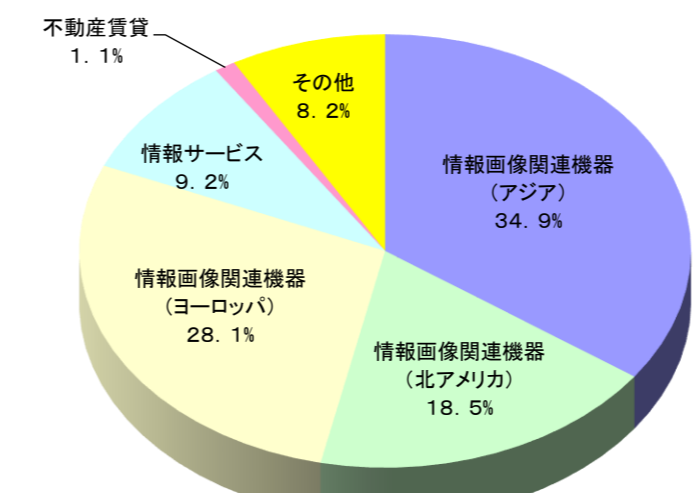
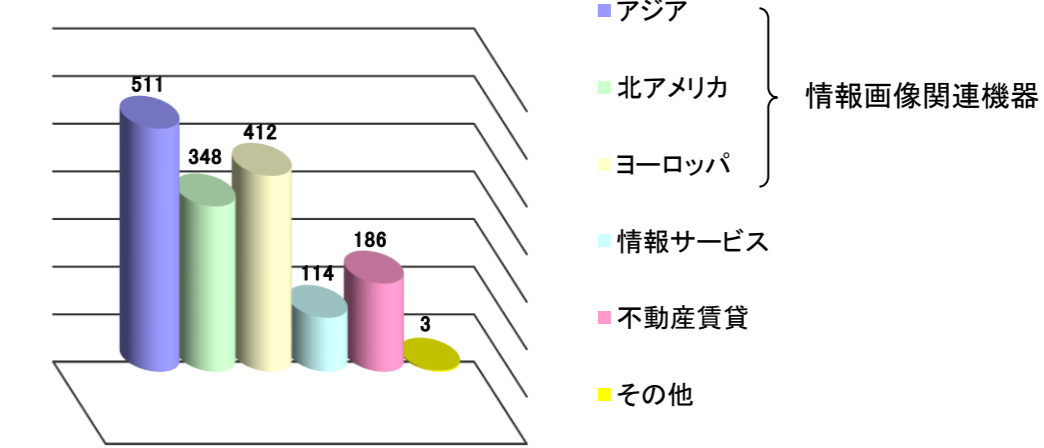
(百万円未満切捨て)

セグメント情報	-報告セグメント-	情報画像関連機器			情報サービス	不動産賃貸	その他	調整額	連結損益計算書計上額
		アジア	北アメリカ	ヨーロッパ					
2015年3月期	売上高	8,420	3,767	7,014	2,282	250	1,739	-	23,475
	セグメント利益	511	348	412	114	186	3	△271	1,306
2016年3月期	売上高	8,171	4,346	6,578	2,163	259	1,929	-	23,449
	セグメント利益	+98	456	195	56	204	△22	△298	689
増減額	売上高	△248	+578	△436	△118	+8	+190	-	△26
	セグメント利益	△413	+107	△217	△58	+18	△26	△27	△617
増減率	売上高	△3.0%	+15.4%	△6.2%	△5.2%	+3.3%	+10.9%	-	△0.1%
	セグメント利益	△80.8%	+30.8%	△52.6%	△50.8%	+9.9%	-	-	△47.2%

売上高



セグメント利益



○セグメント情報

情報画像関連機器事業では、  
・アジア地域においては、大判インクジェットプリンタの販売は中国をはじめとするアジア新興国での販売価格の下落、国内における3Dプリンタ販売の減速影響により減少しました。  
・北アメリカにおいては、アメリカ経済の景気回復、為替の円安と積極的な販売活動の展開により販売が好調に推移し、増収増益となりました。  
・ヨーロッパにおいては、為替の円高による影響と競争激化による販売価格の下落、欧州全般に広がる地政学リスクの影響により販売減少となりました。  
情報サービス事業では、主にCAD事業の販売減速と、3Dソリューション事業にかかる費用増加が影響しました。  
不動産賃貸事業では、稼働率の向上による安定的な賃貸から増益となりました。  
その他の事業では、販売活動を積極的に展開したことで販売は好調に推移いたしました。円安による仕入価格の上昇の影響を受け、減益となりました。

通期業績予想

次期の業績につきましては、世界経済は米国を中心に緩やかな回復傾向を示しながらも、中国をはじめとするアジア新興諸国の経済成長率の鈍化、加えて欧州地域全体に広がりみせる地政学リスクの影響など、先行き不透明な状況が続いております。また、我が国においても、年明け以降の急激な為替の円高進行による企業収益の圧迫や大地震など自然災害の経済活動への影響など不安定な状態が続いております。このような状況の中、当社グループにおいては、引き続き事業構造の強化を推進してまいります。売上高においては、主力の大判インクジェットプリンタ事業については、今後も積極的にプリンタと純正インクの新製品の市場投入を続け、製品のラインアップの充実により売上拡大を図り、3Dプリンタ事業においては、より収益力の高い自社製品の販売強化を図ってまいります。経費については、継続的にコスト削減を行うものの材料価格の上昇などによる原価率の上昇が想定されますが、将来を見据えた開発投資を行ってまいります。  
なお、業績予想に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日) 単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期累計	11,000	250	250	150
通期	24,000	800	800	400

配当予定

	当期	次期予定	増減
中間	0.0	0.0	-
期末	7.0	7.0	0.0

業績予想に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
なお、通期為替レートにつきましては、US\$:108円、EUR:123円としております。